踏切内・前後通路に点字ブロックの整備

視覚に障がいを有する方も踏切内・前後通路を安全に通行できるよう点字ブロックの設置を提案し、JR阪和線 百舌鳥駅での整備が完了。令和7年度末までに、未整備の場所（10ヶ所）が整備される予定となりました。（令和4年6月～令和6年9月質疑）



▲JR阪和線「百舌鳥駅」

南海高野線 中百舌鳥駅ホーム柵の整備

転落事故防止などを目的に駅ホーム柵の設置を求め、令和６年３月から４番線ホームにて供用が開始されました。現在、令和６年度中の３番線ホームでの供用開始に向け、準備が進められています。その他、１・２番線ホームへの設置に向けても検討が進められています。（令和４年６月～令和６年９月質疑）



▲南海高野線「中百舌鳥駅」

ACTION

地域のこと

地域や関係者の皆様のご相談・ご協力をいただき、感謝を申し上げます。
引き続き、より良い堺・未来を創るため尽力してまいります！

堺市立金岡公民館の事故対策





金岡町の交差点の改修





●発行元・お問合せ／中野たかふみ（堺市議会議員）

1986年（昭和61年）1月30日　堺市北区北長尾町生まれ　百舌鳥梅北町在住　妻・子ども３人
学歴：新宝珠幼稚園 / 帝塚山学院小学校 / 松本歯科大学 / 神奈川歯科大学大学院（単位取得退学・博士号取得）
職歴：中野歯科医院 歯科医師 / 前 通所介護施設運営 / 前 学校法人理事
党職：日本維新の会 広報局 / 大阪維新の会 堺市議団 政務調査会 副会長

〒591-8037 堺市北区百舌鳥赤畑町5丁458-5
TEL：072-228-7286　FAX：072-275-8188
Email：nakano.dentist@gmail.com

公式HP　X（旧Twitter）　Facebook　YouTube

議会での質疑の詳細については　堺市議会会議録検索システム　を検索ください。

批判やあげ足をとる政治ではなく、よく学び、考え、提案から実行するための政治活動を行います！

中野たかふみ 市政レポート Vol.16

大阪維新の会 堺市議会議員（堺市北区選出）



ACTION

まちづくり

生まれた頃よりも、魅力のある堺市へ。
ヒト・モノ・カネが集まり、利便性の高い都市へ。

中百舌鳥駅周辺の再整備　提案から実現へ！



駅前広場のイメージ像

●大阪メトロの始発・終着駅、また3つの鉄道の結節点。大阪公立大学や産業振興センターが立地する中百舌鳥エリアですが、集合住宅の建設が進む一方で商業機能は少なく、主に乗り継ぎを目的にされる方が多いなど様々な課題を感じ、自らの選挙公約にも掲げ、数年間をかけて堺市議会で提案や質疑を行ってまいりました。

『中百舌鳥駅周辺活性化基本方針』の策定



北部エリアのイメージ像

●議論を進め、令和６年５月には、駅周辺（市有地を含めた）の改修・再整備と北側の未利用地を含めた空間の再編について『中百舌鳥駅周辺活性化基本方針』が策定。令和６年度中に中百舌鳥駅前北側広場再整備基本計画の策定および事業者の公募が実施される予定となりました。

●乗り継ぎ改善を目的に、大阪メトロなかもず駅施設のリニューアルや中央部の改札口の移設（南北に分ける）、駅前広場のエスカレーターの増設、時間帯や利用者数に応じて上下方向を変更するなどの取組みを提案しました。

●現在、踏切周辺では集合住宅の建設も行われ、これまで以上に事故や渋滞などが増加する可能性があると考えます。引き続き駅周辺の再整備とともにそれらへの対策を求めてまいります。

（令和３年６月～令和６年９月質疑）

便利で安全？

＼ みんなで考えよう！ ／

必要ない？危険？

中学校の自転車通学

道路基準法の改正により、今後は16歳以上が自転車の交通違反の反則制度の対象となります。
交通安全についての教育・学ぶ機会が乏しいこと、毎日徒歩で30～50分以上かけて登下校をする生徒…
安全な登下校を行うことを第一に、中学校の自転車通学に関しての質疑を行いました。（令和６年６月質疑）

今までの状況

- 堺市立中学校４３校中、自転車通学が認められている学校は８校（北区では１校）
- 自転車の交通安全教室は、７校のみの実施（令和３年度）
- 教育委員会では自転車通学に関する基準や条件などの指針は定められておらず、実施をしていない35校への聞き取り調査等は行われていません。

堺市議会で提案したこと

1. 自転車に関わる交通安全教育の充実および交通安全教室の機会を増やすこと
2. 教育委員会内に自転車通学を担当する機関を設けること
3. 生徒・保護者・学校へ意向を含めた聞き取り調査などを行うこと
4. 学校園が取組みやすくなるように、最低限のルールや基準などの事例などを含めた指針・ガイドラインの策定を行うこと

教育長の答弁　自転車通学についての考え方や課題などを整理・把握するとの答弁を得ました

自転車通学を導入するとどうなる…？

考えられるメリットとデメリット

考えられるメリット

- 交通安全に関する知識や技能を身に付け安全利用を促進する
- ヘルメット着用率の向上や危険な通学路の把握
- 通学時間の短縮による睡眠や朝食時間の確保



- 重い荷物を抱えながらの長時間移動による熱中症や身体的負担の軽減
- 下校後の習い事などへのスムーズな移行
- 夜間のライト点灯による防犯対策の強化

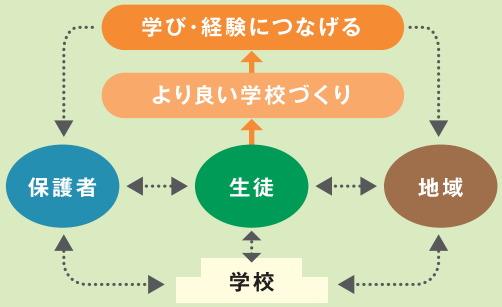
考えられるデメリット

- ルールを守らない利用者が増える
- 自転車による事故が増える
- 学校における駐輪場の確保などの課題



- 通学路の変更が必要となる可能性がある
- ルールや基準など定めることが多くある

＼ POINT ／ この議論のポイント



安全な登下校を行うことが最優先ですが、一方で「自転車通学についての議論」は過去に多く行われないまま現在に至ります。
居住地域や生活状況はそれぞれ異なるため、生徒や保護者の方の希望を聞き取り、登下校の手段の選択肢を拡げること。それらを生徒が主体となり、保護者・地域・学校・教育委員会と一緒に考えて、議論をして、学びに繋げることがとても大切だと考えます。
「自分達で考え・ルールを作り・経験をしていくこと」で、学びへの興味を増やし、教育環境の向上や将来の糧となるのではないかと考えます。

新たな取組みを進めている三国ヶ丘中学校

三国ヶ丘中学校では、生徒会を中心に自転車通学に関わるプロジェクトが進められています。自転車のまち“堺”として歴史や産業を学び、自転車通学の議論や可否だけでなく、歴史や文化とともに安全利用を学ぶ良い取組みだと考えます。